

先進県の取組（富山県）

1 探究科学科の設置

(1) 理数科の廃止と探究科学科設置に向けた検討

平成 19 年度 県立学校教育振興計画基本計画（12 月策定）

- ・理数科の現状と課題及び今後の対応について
- ・新しいタイプの学科を軸とした高校の配置について

平成 22 年度 探究科（仮称）等学科開設検討会の開催（4 回）

(2) 探究科学科の設置、多展開授業の導入等普通科の充実

平成 23 年度 理数科の募集停止、探究科学科の開設

- ・富山・富山中部・高岡の 3 校に「探究科学科」を設置

〔 探究科学科では少人数でのゼミ形式の授業、探究的な学習を
更に充実、発展 〕

- ・魚津・砺波の 2 校は普通科単独校に移行し、多展開授業を導入

(3) 旧理数科設置 5 校の主な特徴

	入学定員		教育課程の主な特徴
	普通科	探究科学科※	
富山	200	80	探究基礎Ⅰ（1年1単位） 学びの手法・学問への招待 探究基礎Ⅱ（2年2単位） 少人数ゼミ、課題研究等
富山中部 (SSH 指定)	200	80	基幹探究(1年1単位) 探究の基本姿勢、グループ研究 探究技術(1年2単位) 情報活用、プレゼン能力 発展探究(2年2単位) 少人数ゼミでの探究活動等
高岡 (SGH 指定)	200	80	T K R I (1年2単位) 基礎育成ゼミ・知識拡張ゼミ T K R II (2年2単位) 課題研究ゼミ
魚津	200	—	進路別講座制の導入（2、3年） ・進路に応じ、基礎・応用・発展の講座から選択して学習。少人数のきめ細かな指導。
砺波	200	—	類型選択制の導入（2、3年） ・理工系や外国語系など理系3類型、文系3類型から進路に応じ類型を選択し学習

※ 探究科学科は人文社会科学科、理数科学科の2学科の総称

(4) 入学者選抜

「人文社会科学科」と「理数科学科」の2学科を「探究科学科」として一括募集し、さらに探究科学科と普通科を併願できる。この場合、普通科は通学区が指定され、探究科学科は全県一区のため、普通科を志願・併願できるのは通学区域内の者に限られる。

普通科(200名)	併願可	探究科学科（一括募集）	
		人文社会科学(40)	理数科学(40)

(5) 教員の研修

探究科学科設置の教員等からなる教育研究会を設置し、取組を共有しながら教育内容の充実と教員研修の充実を図っている。

(6) 合同課題研究発表会

探究科学科三校合同課題研究発表会（12月）を実施している。

- ・ 3校研究班ごとのポスターセッション
- ・ 各校代表によるステージ発表

2 とやま科学オリンピックの取組

(1) 概要

- ・ 科学に対する関心を高め、科学的才能、論理的な思考力、問題解決能力など、多様な力や可能性を伸ばす機会を提供する。科学の甲子園の代表選考を兼ねる。
 [小中部門（小5～中2）] 算数・数学、理科、人文・社会科学での実施
 [高校部門（中3～高2）] 理数系（数学・化学・物理・生物）での実施
- ・ 小中高の教員が合同で作問にあたり、資質向上につなげている。
- ・ 平成26年参加者：小学校部門 349名、中学校部門 413名、高校部門 331名

(2) 問題例（中学校問題）

4 北陸新幹線は、下の【資料9】【資料10】のように普通車、グリーン車、グランクラスの種類車両からなり、全部で12両編成だそうです。どの普通車も座席数は同じだとして、次の条件に合うように、それぞれの車両の座席数を考えます。

【資料9】

【資料10】

普通車は、横に5席ある。

グリーン車は、横に4席ある。

グランクラスは、横に3席ある。

（条件）

Ⓐ 普通車3両とグリーン車1両とグランクラス1両で337席ある。
 Ⓑ 普通車1両とグリーン車1両とグランクラス1両で167席ある。
 Ⓒ 1両の座席数は、多い順に普通車、グリーン車、グランクラスである。
 Ⓓ 1両の列数は、多い順に普通車、グリーン車、グランクラスである。
 Ⓔ グランクラスは、10列未満である。

(1) 条件ⒶとⒷから普通車1両の座席数を求めなさい。

(2) 条件Ⓐ～Ⓔだけを利用して考えられるグリーン車とグランクラスの座席数の全ての組み合わせを表に書きなさい。

グリーン車 (席)									
グランクラス (席)									

(3) グリーン車とグランクラスそれぞれの1両の座席数を求めなさい。